

11月、過ごしやすい季節となりました。先週に小学校の校庭をお借りして「みんなであそぼう会」が行われました。保育の延長上にこの会を持ち、いつも楽しんでいることを保護者も一緒に応援し、参加していただく会です。子どもたちからは「も一回やいたーい！」との声があり楽しかった思いが伝わってきました。

何か出来栄を披露するのではなく、みんなで一緒に楽しい、もっとやりたいのその先に、身体も心も豊かに広がり子どもたちの育ちがあるのだと確信します。当日は親子ゲームや保護者のリレーなど行い、大人も本気を見せることが子どもたちにも何か伝わったのではないのでしょうか。保護者もわが子のみならず仲間の子どもの成長を喜びあいたい仲間の中での我が子の姿に大きな喜びを感じていただけたと思います。保育園は子どもだけでなく、親も職員もそして地域の方々も一緒に育ちあう関係性を大事にしています。

